

第2回 仙台Iソントクラブ 東北大学大学院 女子学生海外渡航支援事業 報告書

平成 25 年 12 月 16 日 記入

所属部局名：環境科学研究科
学 年：修士1年
氏 名：久慈千晶

1. 渡航先
ベトナム ホーチミン
2. 参加国際学会等の名称
13th CONFERENCE ON SCIENCE AND TECHNOLOGY
3. 開催期間
平成 25年 10月 31 日～平成 25年 11 月 1 日
4. 旅行期間
平成 25年 10月 30 日～平成 25年 11 月 2 日
5. 発表演題
Study on Development of Continuous Recycling Machine of High-Water Content Mud Generated in the Disaster Sites
6. 参加した国際学会等の状況並びに感想
今回参加させていただいた学会では、現地の学生だけでなく、現地の企業と共同研究をされている研究者の方々・他国からの研究者・他大学の日本人学生等様々な立場の方々の発表を聞くことができました。同じ分野の中での発表でもその研究内容は多岐にわたり、これまで知らなかった現象解決に関する研究を聞くことは大変勉強になり、おおいに触発されました。私自身、初めての国際学会でしたので大変緊張しましたが、発表を無事に終えることができました。開催地であるベトナムは台風などの被害が大きな問題となっています。発表内容にあった泥土処理機械の開発がこれらの被害の復旧に大きく貢献するものであったため、発表後は興味をもってくださった現地の方々から質問をいただきました。その場での時間制限のある質疑応答は何度か聞き直してしまい素早い対応をすることができませんでしたが、発表終了後には時間を気にせず再度研究者の方からの質問やご指摘に対応でき、大変貴重なディスカッション

ョンを行うことができました。

また、今回初めて降り立ったベトナムの地は生活スタイルも思考も日本とは全く異なるものであり、食事や交通・言語全てにおいて驚きの連続でした。グローバルなエンジニアになるためには共通言語だけでなくそこにある日々の暮らしを理解することから始まるということを目の当たりにしました。さらには今後世界各国の人々と共同研究し、世界の人々に貢献できるものづくりをしていくためには自身の研究に磨きをかけるのはもちろんですが、英語での発信・専門的なディスカッションができる能力の更なる琢磨の必要性を改めて痛感いたしました。

今回、このような世界に対するものの見方が変わる大変貴重な経験・勉強をさせていただくことができました。お世話になった方々、支援・援助してくださった全ての方々に厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

7. 本事業に対する要望等

貴事業のご支援により、初めての国際学会に参加させて頂き、日本には出来なかった異国での発表・滞在によって、よりグローバルな感性を養うことが出来ました。また、今回の学会への女性参加者は1割にも満たない程でした。そんな中発表させて頂けたことは本当に貴重な経験でありましたし、今後もひとりでも多くの女子学生にご支援頂き、活躍の場が広がりますことを心よりお願い申し上げます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

※ この報告書は、本事業の出資団体である「仙台Iソソクラブ」への事業成果報告として提出します。

※ この報告書は、本学男女共同参画委員会ホームページに掲載します。